

福音の園だより

平成十八年度「高齢者雇用優良事業所協会会長賞」受賞

TBSラジオ『メイ』のいきいきモーニング 取材放送

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定

350-0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局

☎049-230-1111(FAX)230-1112

福音の園®、Gospelgarden®は有限会社シャロンの商標

理念・方針説明

【ご家族の声(お便り)】

母、〇木〇エを支えていただいた皆様へ

かがやく宇宙の微塵よなごい

無方の陣にならなごい

【阿津賢治】



母、〇木〇エは二月五日早朝、一〇四歳の天寿を全うしました。桜の咲く頃、一〇五歳を迎えてほしいと期待し、正月も元気に過ごして笑い顔がとてもしステキでした。二月に入り、喉に痰が詰まる症状となり、お医者さん、入所先福音の園スタッフ皆様の心からの介護で回復を目指しましたが呆気無く亡くなってしまいました。一〇年間生活させていただいたグループホーム福音の園・川越は、命の尽きる最期までの看取りが徹底しており、病院に任せず皆さんが「チェさんしっかりね!」「チェさん頑張つてね!」と励まして下さいました。母は皆さんに「ありがとう」ございました。長い間大変お世話になりました

した」と手を胸にあてて、頭を下げて逝つたと私は思います。玄関口に、入所されている高齢者の方々、そしてスタッフ全員が集まり、讃美歌「慈しみ深き」を唱って母の遺体を送り出してくれました。息子の私は目頭があつくなりました。

朝鮮・木浦〜京都〜東京〜宮城県・

栗原市〜仙台市〜川越市、母は生まれて亡くなるまで住んで生活した各地にそれぞれの深い思いを抱いていたことでしょう。



福音の園に入所させていただいた頃は緑内障で視力を失い、要介護認定5でした。介護するスタッフの皆様も大変でした。でも、「心に触れる優しい支援の実践・希望への支援の実践」をスタッフお一人お一人が実行いただき安定した日々の生活を一〇年以上も過ごすことができました。(中略)。

あの世で父が「四十七年振りだなあ」と母を抱きしめているのが目に浮かんできます。

母がお世話になりましたこと、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。皆様もどうぞお元気にお過ごし下さいませ。

二〇一五年一月二十二日

〇木〇〇

外部評価機関・代表者の声(お便り) 第5回会議出席

参加し、信頼関係の深さを感じたこと

拝啓。

昨日は、ご多忙にもかかわらず大変お世話話になり、ありがとうございました。(中略)。



今回、運営推進会議に参加させていただき、特に印象に残っていることは、杉澤ホーム長様からの包み隠さずのご報告や傾聴のお姿、そして、ご家族様やボランティア代表の方からのお話より、貴グループホームとご家族様、職員の方々の信頼関係

の深さを感じたことです。外部評価訪問調査の際、運営推進会議の開催を悩まれる管理者の方々が多い中で、杉澤ホーム長様の「お世話をしているお一人おひとりとそのご家族、体温のある人間に関心を持つことで良い関係を築いていたら、運営推進会議の内容はおのずと見えてくる」というお言葉にとても重みを感じ、本気で取り組み始めている心がひしひしと伝わってきました。

この度、我々が気づかせていただいたこと、学ばせていただいたことは、これから予定しております調査員の教育に活かし、一緒にサービスの質の向上のための取り組みに関わる相手として考えていただける存在になれるよう努力する所存です。(中略)。

どうか、今後ともご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。時節柄、ご自愛下さいませ。 敬具。

運営推進会議・出席者の声

「人の立場に立つ」から「つた

父は1年9ヶ月こちらでお世話になった。一昨日、テレビ「ニュース23」で『増える認知症患者』が特集されていた。番組はスタッフさんの立場に立っていたが、パニックになる前にきちんと対応していたらもつと違ったのに、と私は患者さんの方が気の毒に思った。父はこちらで「先生、先生!」と言って貰えて、「今、ご紹介頂いたKでございます!」と始まってしまい、「紹介してない、紹介してない!」と云うように優しく「その人の立場に立つて」守って下さった。この番組を観てこういう所にはお世話になりたくないな、と感じた。

(傾聴ボランティア K・J様)

【2015.4.23 第41回運営推進会議・提出済 報告書より転載】
御礼 寄贈・聖書 ギデオン埼玉西支部夫人会様